

情報サービス産業におけるアジャイル開発に関する調査2021

■ ご回答にあたって ■

【調査の目的】

情報サービス産業におけるアジャイル開発の活用度合いや浸透の実態、推進上の課題などを定量的に把握するために実施します。

【調査の対象】

会員企業のエンジニア

- ・プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー、チームリーダーのほか、システムエンジニア、プログラマの方等を対象とします。
- ※アジャイル開発の経験は問いません。

【回答要領】

・本調査はエンジニア「個人」に対する調査です。各企業を代表して回答する調査ではありません。

多くの方のご回答をお待ちしております。

注1) 調査参加企業としての社名がJISAより公表されることはございません。

注2) JISAにおいて個別企業に関する分析をすることはございません。

- ・ご回答には10分程度のお時間をいただきます。

【調査実施期間】

令和3年12月13日(月)から令和4年1月31日(月)まで

【問い合わせ先】

本件に関しまして、ご不明な点ご質問等ございましたら下記までお問い合わせください。

JISAアジャイル開発グループ事務局 担当：辻村

TEL : 03(5289)7651

EMAIL : tsujimura@jisa.or.jp

0. 回答者情報

(1) 勤務先企業名

(2) 連絡先メールアドレス：本調査の調査結果報告書送付をご希望の方は以下に 送付先メールアドレスをご記入ください。

I. 所属企業および業務についてお尋ねします。

(I-1) 勤続年数：あなたの勤続年数を数字でご記入下さい。

例) 10年 → 10

 年

(I-2) 従業員数：御社の従業員数（正社員数）を選択してください。

- 1. 10人未満
- 2. 10人～50人未満
- 3. 50人～100人未満
- 4. 100人～300人未満
- 5. 300人～500人未満
- 6. 500人～1000人未満
- 7. 1000人～1500人未満
- 8. 1500人～2000人未満
- 9. 2000人～2500人未満
- 10. 2500人～3000人未満
- 11. 3000人以上
- 不明

(I-3) 担当職種：あなたの現在の担当職種としてもっとも適当なものを選択してください。

- 1. マーケティング
- 2. セールス
- 3. コンサルタント
- 4. ITアーキテクト
- 5. プロジェクトマネジメント
- 6. ITスペシャリスト
- 7. アプリケーションスペシャリスト
- 8. ソフトウェア開発
- 9. カスタマサービス
- 10. ITサービスマネジメント
- 11. エデュケーション
- 12. その他（具体的に：）

(I-4) 現在の業務：あなたの現在の業務はソフトウェア開発に関係していますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

(I-5) 開発対象：あなたが関与する代表的なプロジェクトにおいて、開発対象として当てはまるものを
いくつでも選択してください。

- () 1. 社内向け
- () 2. お客様向けカスタム
- () 3. パッケージ
- () 4. 自社製品への組み込み用
- () 5. お客様製品への組み込み用
- () 6. その他（具体的に： ）

(I-6) 業務上の立場：あなたの現在の業務上の立場としてもっとも適切なものをひとつだけ選択して
ください。

- () 1. 経営者・経営企画
- () 2. 情報システム（システム企画）
- () 3. 情報システム（システム開発）
- () 4. 情報システム（運用・管理）
- () 5. マーケティング・広報・宣伝
- () 6. 営業企画
- () 7. EC・通販
- () 8. データセンター設備・設計
- () 9. データセンター運用・管理
- () 10. 物流・調達
- () 11. 総務・人事・経理
- () 12. その他（具体的に： ）

(I-7) 役職：あなたの役職を選択してください。

- () 1. 役員
- () 2. 部門長
- () 3. マネージャ、リーダー
- () 4. 技術職、コンサルタント
- () 5. その他（具体的に： ）

Ⅱ. アジャイル開発についてお尋ねします。

(Ⅱ-1) 用語：あなたが知っている用語について当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. アジャイルという言葉は知っている
- 2. アジャイルマニフェスト（アジャイルソフトウェア開発宣言）を知っている
- 3. アジャイルソフトウェアの12の原則（アジャイル宣言の背後にある原則）を知っている

(Ⅱ-2) 情報収集：過去6カ月の間に、あなたが行ったアジャイル開発に関する情報収集として、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. アジャイルに関する研修／セミナーを受講した
- 2. アジャイルに関するイベントなどに参加した
- 3. アジャイルに関する書籍などを読んだ
- 4. アジャイルに関する記事をインターネットなどで読んだ
- 5. 特に何もしていない

(Ⅱ-3) 資格：あなたが保有しているアジャイル開発に関する資格について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. PMP-ACP
- 2. 認定スクラムマスター（CSM/LSM/PSM/EXIN Agile Scrum Master）
- 3. 認定スクラムプロダクトオーナー（CSPO/LSPO）
- 4. 認定スクラムデベロッパー(CSD)
- 5. アドバンスド認定スクラムマスター（A-CSM）
- 6. アドバンスド認定スクラムプロダクトオーナー（A-CSPO）
- 7. 認定スクラムプロフェッショナル(CSP/CSP-SM/CSP-PO)
- 8. Agile 検定 L1
- 9. EXIN Agile Scrum Foundation
- 10. 特になし
- その他（具体的に： ）

(Ⅱ-4) アジャイルの導入状況・成熟度：

あなたが所属する組織における、アジャイルの導入状況・成熟度について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. アジャイルの実践により、組織の適応性が向上している
- 2. アジャイルの導入に関する指標が管理され、測定されている
- 3. アジャイルの導入が、組織的な取り組みになりつつある
- 4. アジャイルの導入が、特定のプロジェクトチームでのみ行われている
- 5. 場当たり的に行われており、効果は不十分
- 6. アジャイルの導入・推進は行われていない
- 7. わからない

(Ⅱ-5) 経験：あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発手法の経験としてもっとも当てはまるものを、1つだけ選択してください。

- 1. 現在導入している（ソフトウェア開発の一部または全体）
- 2. 以前導入したが、現在は適用していない

() 3. これまで導入したことはない

() 4. 分からない

1を選択した方はⅢの質問へ、2を選択された方はⅣの質問へ、3、4を選択した方はⅤの質問に進んでください。

Ⅲ. 現在導入している(ソフトウェア開発の一部または全体)方にお尋ねします。

(Ⅲ-1) アジャイル開発プロジェクトにおける役割：

あなたが関与するアジャイル開発プロジェクトで、あなたの役割について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. プロダクトオーナー/プロダクトマネージャー
- 2. 開発者
- 3. スクラムマスター
- 4. プロジェクトマネージャー
- 5. UI or UX デザイナー
- 6. QA
- 7. アジャイルコーチ
- 8. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-2) アジャイル開発手法を導入したきっかけ：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入したきっかけについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. 開発チームが自主的に判断し導入
- 2. 経営層や上司からのトップダウンでの指示
- 3. スポンサーや発注先からの指示
- 4. セミナーなどで興味をもったから
- 5. 競合他社との兼ね合い
- 6. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-3) アジャイル開発手法を導入した時期：

あなたが初めてアジャイル開発手法を導入した時期について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. 1年以内
- 2. 1年から2年前
- 3. 2年以上前

(Ⅲ-4) アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数を数字でご記入ください。

例) 10個 → 10

	個
--	---

(Ⅲ-5) 導入していたアジャイル開発プロセス、手法：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイル開発プロセス、手法について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. SCRUM
- 2. XP (extreme programming)
- 3. SCRUM/XP ハイブリッド
- 4. リーン

- () 5. DAD (Disciplined Agile Delivery)
- () 6. LeSS
- () 7. SAFe (Scaled Agile Framework)
- () 8. Nexus
- () 9. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-6) 導入していたアジャイル開発プラクティス・エンジニアリングプラクティス：

(a) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイル開発プラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。

※ プラクティスの内容については、以下のガイドを参考にしてください。

IPA アジャイル型開発におけるプラクティス活用 リファレンスガイド

<https://www.ipa.go.jp/sec/softwareengineering/reports/20130319.html>

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	ベロシティ				
2	バーンアップチャート				
3	バーンダウンチャート				
4	スプリントレビュー				
5	KPT (ふりかえり)				
6	レトロスペクティブ (ふりかえり)				
7	リリース計画				
8	イテレーション計画				
9	朝会 (昼会、夕会なども)				
10	アジャイルコーチ				
11	インセプションデッキ				
12	ストーリーポイント				
13	かんばん				
14	タスクボード				
15	ストーリーマッピング				
16	プランニングポーカー				
17	チケット駆動				
18	プロダクトバックログ				

(b) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたエンジニアリングプラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	テスト駆動開発				
2	ペアプログラミング				
3	リファクタリング				
4	継続的インテグレーション				
5	ユニットテスト自動化				
6	ビルド自動化				
7	受け入れテスト自動化				

8	モブプログラミング				
9	コーディング標準				

(Ⅲ-7) 導入していたアジャイルプロジェクト管理ツール：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイルプロジェクト管理ツールについて、当てはまるものを選択してください。

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	人に薦めた
1	Atlassian JIRA				
2	Microsoft Excel				
3	Microsoft Azure DevOps				
4	Google Docs				
5	Microsoft Project				
6	Redmine				
7	Backlog (株式会社ヌーラボ)				
8	Pivotal Tracker				
9	Trello				
10	Asana				
11	GitHub				
12	Gitlab				
13	社内独自システム				

(Ⅲ-8) アジャイル開発に期待するもの、効果があったもの：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発に期待するもの、効果があったものについて、それぞれ当てはまるものを全て選択してください。

		期待する	効果があった
1	変更対応（仕様、環境など）への柔軟性		
2	納期短縮		
3	コスト削減		
4	システム品質向上		
5	開発生産性向上		
6	無駄なものを作らない		
7	ビジネス価値創造		
8	顧客満足度向上		
9	開発者のモチベーションアップ		
10	チームの成熟度向上		
11	開発プロセス改善		
12	収益向上		
13	プロジェクトのリスク削減		
14	プロジェクトの可視性向上		

(Ⅲ-9) アジャイル開発を評価するメトリクス：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発を評価するメトリクスについ

- () 5. DAD (Disciplined Agile Delivery)
- () 6. LeSS
- () 7. SAFe (Scaled Agile Framework)
- () 8. Nexus
- () 9. その他 (具体的に：)

(IV-6) 導入していたアジャイル開発プラクティス・エンジニアリングプラクティス：

(a) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイル開発プラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。

※ プラクティスの内容については、以下のガイドを参考にしてください。

IPA アジャイル型開発におけるプラクティス活用 リファレンスガイド

<https://www.ipa.go.jp/sec/softwareengineering/reports/20130319.html>

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	ベロシティ				
2	バーンアップチャート				
3	バーンダウンチャート				
4	スプリントレビュー				
5	KPT (ふりかえり)				
6	レトロスペクティブ (ふりかえり)				
7	リリース計画				
8	イテレーション計画				
9	朝会 (昼会、夕会なども)				
10	アジャイルコーチ				
11	インセプションデッキ				
12	ストーリーポイント				
13	かんばん				
14	タスクボード				
15	ストーリーマッピング				
16	プランニングポーカー				
17	チケット駆動				
18	プロダクトバックログ				

(b) あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたエンジニアリングプラクティスと導入状況について、当てはまるものを選択してください。

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	よく導入している
1	テスト駆動開発				
2	ペアプログラミング				
3	リファクタリング				
4	継続的インテグレーション				
5	ユニットテスト自動化				
6	ビルド自動化				
7	受け入れテスト自動化 ※新規				

8	モブプログラミング				
9	コーディング標準				

(IV-7) 導入していたアジャイルプロジェクト管理ツール：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、導入していたアジャイルプロジェクト管理ツールについて、当てはまるものを選択してください。

		知らない	知っているが未導入	導入したことがある	人に薦めた
1	Atlassian JIRA				
2	Microsoft Excel				
3	Microsoft Azure DevOps				
4	Google Docs				
5	Microsoft Project				
6	Redmine				
7	Backlog				
8	Pivotal Tracker				
9	Trello				
10	Asana				
11	GitHub				
12	Gitlab				
13	社内独自システム				
14	その他				

(IV-8) アジャイル開発に期待するもの、効果があったもの：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発に期待するもの、効果があったものについて、それぞれ当てはまるものを全て選択してください。

		期待する	効果があった
1	変更対応（仕様、環境など）への柔軟性		
2	納期短縮		
3	コスト削減		
4	システム品質向上		
5	開発生産性向上		
6	無駄なものを作らない		
7	ビジネス価値創造		
8	顧客満足度向上		
9	開発者のモチベーションアップ		
10	チームの成熟度向上		
11	開発プロセス改善		
12	収益向上		
13	プロジェクトのリスク削減		
14	プロジェクトの可視性向上		

(IV-9) ビジネス価値の評価：

あなたがこれまでに関与してきたアジャイルプロジェクトで、ビジネス価値を評価したことがありますか。

- 1. 評価したことがある
- 2. 評価したことがない

(IV-10) (IV-9)で「1. 評価したことがある」とお答えした方にお尋ねします。

どのような評価方法を採用しているかご記入ください。例：売上高、利用者数など

()

(IV-11) アジャイル開発で難しいと感じた点：

あなたがこれまでに関与してきたプロジェクトで、アジャイル開発で難しいと感じた点について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- 1. お客様の理解と協力
- 2. 契約形態
- 3. 人材、スキル
- 4. 開発ツールやインフラ環境
- 5. 社内の理解と協力
- 6. 目標設定と人事評価
- 7. 上司の理解と協力
- 8. 品質の評価
- 9. 進捗の評価
- 10. その他（具体的に：)

(IV-12) アジャイル開発における協力体制：

あなたがこれまでに関与してきた代表的なプロジェクトにおけるステークホルダーとの協力体制について、もっとも当てはまるものをそれぞれ1つ選択してください。

a) 顧客

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

b) 上司

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

c) 関係部署

協力や支援を得られてない

協力や支援を十分に得られている

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

(IV-13) アジャイル開発手法を導入していた期間：

あなたがこれまでに関与してきた代表的なアジャイルプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入していた期間について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。

- 1. 2ヶ月未満
- 2. 2ヶ月以上-6ヶ月未満
- 3. 6ヶ月以上-12ヶ月未満
- 4. 12ヶ月以上-18ヶ月未満
- 5. 18ヶ月以上-24ヶ月未満
- 6. 24ヶ月以上

(IV-19) アジャイル開発を薦める可能性：

あなたがアジャイル開発を友人や同僚に薦める可能性についてもっとも当てはまるものを、1つだけ選択してください。

薦める可能性はまったくない

薦める可能性は極めて高い

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

V. これまで導入したことはない、または、分からない方にお尋ねします。

(V-1) アジャイル開発の導入について：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイルを導入しようと考えていますか？

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. どちらとも言えない
- 4. その他（具体的に： _____）

(V-2) アジャイル開発に期待するもの：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発に期待するものについて、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 変更対応（仕様、環境など）への柔軟性
- 2. 納期短縮
- 3. コスト削減
- 4. システム品質向上
- 5. 開發生産性向上
- 6. 無駄なものを作らない
- 7. ビジネス価値創造
- 8. 顧客満足度向上
- 9. 開発者のモチベーションアップ
- 10. チームの成熟度向上
- 11. 開発プロセス改善
- 12. 収益向上
- 13. プロジェクトのリスク削減
- 14. プロジェクトの可視性向上
- 15. その他（具体的に： _____）

(V-3) アジャイル開発導入にあたっての問題点：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発導入にあたっての問題点について、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 人材
- 2. 発注、受注の契約形態
- 3. 組織の制約
- 4. その他（具体的に： _____）

(V-4) アジャイル開発を導入しない理由：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発を導入しない理由について、当てはまるものを全て選択してください。

- 1. 導入するメリットが明確になっていない
- 2. 導入できる人材がいない
- 3. 現在の開発プロセスで問題を感じていない
- 4. 導入時のデメリットが明確になっていない
- 5. 導入しなくても解決できる
- 6. その他（具体的に： _____）

VI. アジャイルに関するイベントについてお尋ねします。

(VI-1) アンケート回答者向けの無料セミナーを予定しております。どのようなイベントを希望しますか。

- 1. 有識者の講演を聴きたい
- 2. ワークショップに参加したい
- 3. 特になし
- 4. その他 (具体的に: _____)

(VI-2) (VI-1)について、具体的な講師もしくは講演、ワークショップのテーマについてご希望があればご記入下さい。

(_____)

VII. その他ご意見

(VII-1) 全体を通してのご意見 (自由記述) :

アジャイル開発について困ったことやこうしたいといった要望があればご記入ください。

(_____)

ご協力ありがとうございました。